



3.11
絵本プロジェクト
いわて
Books for Children

3.11 絵本プロジェクトいわて事務局
〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町14-1
Tel: 019-654-5366 FAX: 019-653-3505
E-mail: iwate@ehonproject.org
www.ehonproject.org/iwate

「3.11 絵本プロジェクトいわて」の活動について

平成 23 年 12 月 5 日

1、提唱

国際的な児童図書編集者・末盛千枝子さん（彫刻家 舟越保武さん長女）から「被災地で心の傷を負った子どもたちへ絵本を贈ろう」という活動の提唱があり、盛岡市中央公民館を拠点に、盛岡市内のNPO団体（いわてアートサポートセンター、参画プランニングいわて、盛岡市婦人ボランティア野の花会）や盛岡教育事務所が参加してはじまったプロジェクト。

2、本の集積と分類

（1）12月2日現在の集積状況

231,787 冊（全国から 0 歳から小学生を対象とした絵本・児童書）

（2）開梱・分類の状況

活動当初は年齢別に四分類しコンテナに仕分けしていた。現在、分野別・作家別分類にしたものを最終分類している。

3、ボランティア

（1）開梱・分類作業

盛岡市中央公民館創作展示室で午後 1 時～3 時、毎日 20 人～30 人程度の女性中心のボランティアが荷解きと分類の活動を展開。（12 月 2 日現在、126 日間 延べ 2,709 人）

（2）配送・読み聞かせ

絵本は、避難所、仮設住宅、小学校、幼稚園、保育所等に直接、絵本ケース（コンテナ）に 50 冊程度まとめ、被災地の希望に沿った分類をして届けている。5 月末からは幼稚園・保育園には「えほんカー」（軽トラックを改造。日本で初開発）で届けている。希望があれば開梱・分類作業を行っているボランティアが読み聞かせも行っている。

図書館用を希望された自治体に対しては、希望の冊数を箱詰めして、受入体制が整うまで盛岡市内の小学校の余裕教室に保管。（12 月 2 日現在、野田村、大槌町、陸前高田市に各 10,000 冊準備済み。）

4、えほんカー

「えほんカープロジェクト」を 4 月から開始し、1 号車が 5 月 20 日に完成。日本郵便年賀寄付金配分の決定により、6 号車まで発注し、8 月 7 日に納入された。被害の大きかった自治体（ボランティア団体含む）へ絵本満載のえほんカーをプレゼントする。8 月 10 日大槌町に 1 台、9 月 6 日宮古市に 1 台、10 月 18 日釜石市に 1 台寄贈した。（12 月 7 日普代村に 1 台寄贈予定。）

5、寄贈実績

4 月 4 日、宮古・山田を訪問したのを始めとして、12 月 2 日現在、209 ヶ所にあわせて 76,625 冊を寄贈した。北は青森県八戸市、南は宮城県石巻市まで 14 市町村に出向いた。

「えほんカー」が被災地を走り、子どもたちが自分の好きな本を選べるということが、大きな評価をいただいている。